



身近にある  
日本書紀ゆかりの地を  
めぐってみませんか。

日本書紀  
めぐり旅

Vol.10



ご神木のイチヨウは  
11月下旬が紅葉の  
見頃。  
※現在は木の保全の  
ため、枝を短くしてい  
ます。

# 葛城一言主神社

「一言さん」と親しまれ  
イチヨウの大木がシンボルの古社

ただ一言の願いであれば、何事も聞いてくださるといふ一言主神。地元で「一言さん」と親しまれる葛城一言主神社は、全国にあまたある一言主大神を祭神とする神社の総本社です。社殿がたたずむのは葛城山東麓の見晴らしの良い高台。境内には樹齢推定1200年のイチヨウの大木がそびえ立ち、晴れた日には眼下に奈良盆地を見渡すことができます。

この一言主神は『古事記』『日本書紀』に登場し、葛城山で狩りをする雄略天皇の前にあらわれた時の様子が伝えられています。

『日本書紀』では、天皇と同じ姿であらわれた

神に、天皇が問いかけると、「私は一言主神である」と仰せられ、二人はともに狩を楽しんだと記されています。

『古事記』では、悪事も善事も一言で言い放つ神とされ、時代とともに願いを一言だけ聞き届けてくれる神として信仰されるようになりました。一言主神社には、「一言」に込めた人々の深い祈りが今の世にも息づいています。

社地は、いにしへの伝承が残る葛城古道沿いにあり、周辺には古代の豪族、葛城氏の勢力を示す古墳や古社など多くの名所旧跡とともに、日本の原風景が今もなお残っています。

**「葛城一言主神社」** 近鉄御所駅から御所市コミュニティバス(西コース内回り循環)「森脇」下車300m

所 御所市森脇432  
問 葛城一言主神社 ☎0745-66-0178

日本書紀で奈良を楽しむPR映像をYouTubeで放映中

奈良まほろまん 一言主神

ご神体は拝殿背後の葛城山

**日本書紀を語る講演会** NaraKIKIManyo Project 2012-2020 なら紀紀・万葉

平成28年11月5日(土)～平成29年3月5日(日) 県内10会場にて開催

多彩な講師陣が『日本書紀』の魅力語る連続講演会を開催します。一部会場では講演会開始前に、観光ボランティアガイドと一緒に『記紀・万葉』のゆかり地等を巡るエクスカーション(体験型の見学会)を実施予定。『日本書紀』編さんの地、奈良県だからこそ味わえる『日本書紀』のおもしろさと、ゆかり地の魅力に触れてください。詳細は、下記事務局へ。(無料・要申込・抽選)

申 問 「日本書紀を語る講演会」事務局(株式会社SAP内) ☎03-5226-8537(平日10時～18時)

日本書紀を語る講演会